

明日は7月7日。「七夕」です。

笹竹に願い事を書いた短冊を飾る習わしが庶民に広がったのは、江戸時代の頃だそうです。当初は芸事の上達を願いごととしたそうですが、現代では何の願い事でもかまわないのだそうです。

高郷中の生徒達は何を願うのでしょうか。できることなら生徒みんなの願いが叶うといいなあと思います。

1 学期の期末テストが実施されました。！

6月20日（水）と21日（木）の2日間にわたり、期末テストが実施されました。1年生にとっては初めての一斉による定期テストでした。2・3年生にとっては慣れたこととはいえ、学期の評定に関わる大事なテスト。それぞれに緊張感をもって試験に臨んだことと思います。

テストはこの緊張感が大事だと思います。一発勝負です。やり直しや特別扱いはありません。高校入試もそうです。（ちなみに、普段は「ノーチャイム」の高郷中ですが、今回のテストでは緊張感を持たせることと、高校入試の雰囲気になれることをねらいとして、チャイムを入れてみました。）

ですから事前の準備がとても大切になります。各学年において2週間前には計画表を作り、5日前からは部活動も中止になります。学習に関する最大限の努力を積んで、試験に臨みます。それでも思うように実力が発揮できず、うろ覚えであったり、忘れてしまって十分な結果を出せないことも多いものです。挙げ句の果てには、その結果からその時点での評価をされてしまうことになります。

でも、その積み上げがやがて、自分の進路を選択するときにとっても大切な「学力」につながっていきます。そしてこのテストを有効に活用し、間違えたところをこの次のテストで間違えないようにしておけば、ほとんどの内容を理解する機会ともなります。「テストは終わったときが大切」なのはそういう理由によります。ですから、テスト問題をもう一度やり直す勉強法を、ご家庭でも助言していただきたいと思います。



さわやか、ボート教室！

7月3日（火）、前高郷小の校長先生、東條有克先生と高郷中OBで、市教委に勤務している赤城孝夫さんとを講師としてお招きし、伝統あるボート教室が実施されました。天候とコンディションに恵まれ、暑かったですがとても有意義な行事となりました。

ボートを漕ぐのが全く初めての生徒は少なかったのですが、漕ぎ手の名称や役割などの基本的な事柄について説明を受け、早速乗船しての練習に入りました。最初は戸惑っている様子もありましたが、すぐに慣れて息を合わせて漕げるようになりました。さすが3年生は、下級生に教えながら自らもリードして漕ぐ姿は、頼もしい限りでした。私も最後尾に乗せてもらいました。息が合って、しっかりと「キャッチ」できたときの推進力は爽快で、とても気持ちよかったです。



「職場体験」頑張りました！

2年生は6月26日（火）と27日（水）の2日間にわたり、自分の選択した会社やお店での職業体験を行いました。2年生の体験学習として、1年間の中でも大変重要な行事と言えます。社会の仕組みや職場の様子、そして何より社会に出て働くことの意味について考える学習だからです。

総合的な学習の時間の中で行っていますが、事前・事後の学習も含めて、生徒達が与えられた作業に真剣に取り組んでいる姿が見られました。2人で体験している職場では、お互いに相談したり協力したりして作業している姿は、普段の学校生活ではなかなか見られない姿もあり、とても新鮮でまた、高郷中生の良さを実感しました。

この経験が「働くことの楽しさと厳しさ」を知り、それぞれの「将来の夢」につながってくれるといいなと思いました。



「自己啓発力」を高めよう！

高郷中に赴任してから早、四ヶ月となり、高郷中生の素晴らしい点は随時お伝えしてきたところですが、さらなる人間力の向上のために、考えていることは、「自己啓発」つまり、よりよい自分を創造していこうとする意思を持つということです。高郷中生が、今後中学校を卒業し、羽ばたいていく世界は広く、様々な人や出来事が渦巻く巨大な社会です。そんな中でも持っている才能を最大限に発揮し、さらに可能性を広げ、大きなステージで生き抜いていこうとする強い気持ちを持つことが、今の高郷中生の力をさらに伸ばすことにつながっていくと思います。

その自己啓発につながるたくさんの言葉が、高郷中の廊下に掲示されています。それぞれの先生方が生徒に教えた名言として作成した物だそうです。そのいくつかを紹介します。

- 「富士山に登ろうと心に決めた人だけが富士山に登ったのです。散歩のついでに登った人は一人もいませんよ。」
- 「起こりうる未来、それから顔を背けるな。君たちにはいつでも選択が任されている。別の未来、そして別の過去も。」
- 「本当に何かを変える人は、口より先に動いている。」
- 「強くなければ生きていけない。優しくなくては生きている資格はない。」
- 「人生に助走期間なんてない。あるのはいつもいきなり本番の走りだけだ。」



<お知らせ>

本日の下校時に保護者の方へのお知らせ文書を配付します。内容は熱中症予防のために、水筒に飲み物を入れて持参してもよいこととする対応についてです。時期になればインフルエンザの予防としても同じように対応したいと思います。関東では史上最も早い梅雨明けだそうです。今後も猛暑が予想されます。例年通り扇風機と製氷機は用意しておりますが、必要に応じて水分を持参するようご指導お願いいたします。

